

# いきいき介護 Vol.89

9月27日 医療介護と自立ケアの  
実践学習会がありました！

「元気な時から看取りまで生協にまかせて安心を」  
～看多機・定巡・サロンを拠点にコープあんしんシステムをつくろう～  
～学習内容～  
広島中央保健生活協同組合 大野正喜 常務理事

これからの医療と介護の自立支援ケアの実践について  
社会福祉法人 協同福社会 大國康夫 理事長



はじめに大野常務から組合員が元気な時から看取りまでを支える「コープあんしんシステム」と、看多機をつくる意義についてお話がありました。

大國理事長からは協同福社会での取り組みや事例、組合員や地域住民と面で繋がる大切さについてご講演頂きました。

最後に看多機OPENに向けて、柱となる職員の考え方と組合員と最後まで関われる仕組みの構築の2つが重要であると教えて頂きました。これらのポイントを意識しながら、職員全体で看多機を成功させ、コープあんしんシステムの推進に努めていきたいです(#^^#)

## ～学習会の感想～

- ・看多機の事業は医療生協の理念と一致する事業だと感じました。
- ・地域でも関わり方で自宅(施設)で元気に暮せる人が多いことにビックリしました。
- ・組合員さんや地域住民に何を期待されているのかをもっと皆で理解する必要があるのではないかと思います。
- ・コープあんしんシステムをつくり運用していくには職員の育成も大切なのではないかと思います。
- ・入院中の在宅生活を見据えたケアというものがなかなかイメージできななので、訪問看護や訪問介護、在宅診療などの同行研修等をおこなってイメージできるようにしたい。

